

平成 28 年 1 月 22 日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報担当

講演会&対談 ~当事者のハナシ、聴いてみませんか~

【高次脳機能しょうがいと生きる】開催

市では、高次脳機能しょうがいへの理解の促進と支援の充実をめざして、平成 23 年度より「高次脳機能しょうがい講演会」を開催しています。

高次脳機能しょうがいは、脳の損傷による後遺症により、新しいことが覚えにくくなる、コミュニケーションが取りづらくなるなどの症状が現れるものです。今回の講演会と対談は、高次脳機能しょうがいを持つ 3 名の方をお迎えする、これまでに例を見ないイベントです。戸惑い、悩みながらも、少しずつ前向きな生活を取り戻してきた当事者の方々の話を聴くことのできる、またとない機会となります。

ぜひ、貴媒体での告知および取材・掲載方よろしく願いいたします。

記

- 1.日時 2月6日(土) 午後2時~4時30分 (開場:1時30分)
- 2.場所 くにたち市民芸術小ホール 1階ホール(国立市富士見台 2-48-1)
- 3.内容
基調講演
講師:大塚 祐子氏(東京都心身障害障害者福祉センター)
対談
高次脳機能しょうがいの当事者と支援者の方々
コーディネーター:植村 修氏(国立病院機構村山医療センター 医師)
- 4.対象 市内外かかわらず、どなたでも参加できます
- 5.定員 250名(手話通訳あり、車いす可)
- 6.参加費 無料

お問い合わせ

国立市役所 しょうがいしゃ支援課相談係

TEL:042-576-2111(内線148・179・405)

【講演会&対談】



高次脳機能しょうがいと生きる

～当事者のハナシ、聴いてみませんか～

“ことばが出づらい・よく物にぶつかる・覚えられなくなった・
怒りっぽくなった・やる気がでない”

脳卒中や交通事故の後遺症である「高次脳機能しょうがい」は誰にも起こりうるしょうがいです。
実際にどんな思いを抱え、日々過ごしているのか・・・。

この機会に当事者の声に耳を傾けてみませんか？ みなさまのご参加をお待ちしております。

平成 28 年 2 月 6 日 (土)

午後 2 時～4 時 30 分 (受付 1 時 30 分～)

講 演 ▶ 高次脳機能しょうがいて、なんだろう？
東京都心身障害者福祉センター 大塚 祐子 氏

対 談 ▶ 高次脳機能しょうがいと私 ～過去・今・そしてこれから～
高次脳機能しょうがいを持つ当事者とその支援者
国立病院機構村山医療センター 植村 修 医師

参加費無料

手話通訳あり

事前申込不要 (先着 250 名)

会 場： くにたち市民芸術小ホール

住 所： 国立市富士見台 2-48-1

電 話： 042-574-1515

定 員： 250 名



主催：国立市しょうがいしゃ支援課 共催：国立病院機構村山医療センター
後援：高次脳機能障害者と家族の会多摩支部



[お問い合わせ先]

国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課相談係
高次脳機能しょうがい担当：楠本・吉松
電話：042-576-2111 (内 179.405)
FAX：042-573-1102

くにたち市民芸術小ホール



〒186-0003 国立市富士見台 2-48-1
※国立市役所西側のレンガの建物です

【アクセス】

- J R 国立駅南口バス4番乗り場から「国立泉団地」、「国立操車場」、「矢川駅」行きのバスにて「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車
- J R 矢川駅北口から徒歩 10 分
- J R 谷保駅北口から徒歩 10 分

※近くには国立市役所駐車場があります。ただし駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関を利用してください。